



世界的な植物学者 牧野富太郎が命名した 日本一のセンダイヤ（サクラ）が見ごろ

と き 4月6日（日）ごろまで 午前9時～午後5時（火曜休園）

と ころ 区立牧野記念庭園（東大泉6-34-4） / 入場無料

世界的な植物学者、牧野富太郎博士の住居を整備し開放している「区立牧野記念庭園」では、牧野博士が好んだと言われている珍しいサクラ類が次々に開花し、訪れる人々を楽しませている。

その中でも、センダイヤ（サクラ）は高知県高知市内の仙台屋という店の前にあったもので、牧野博士が命名した。

センダイヤの成木は日本では数少なく、親木は既に枯死している。牧野記念庭園にあるセンダイヤは、日本では一番の大木とされていることから、庭園のシンボルとなっている。31日現在満開で、見ごろは今後1週間。

同園ではセンダイヤのほかに、ソメイヨシノ、マナヅルザクラ、ミシマザクラ、ウスガサネオオシマ、牧野博士が命名したワカキノサクラなども見ごろを迎えており、様々な種類のサクラが楽しめる。

園芸相談員は「これからはヤマザクラや、その後にヤエザクラの季節になり、次々とサクラの開花が楽しめます。ぜひお越しください」と話している。



センダイヤ
(3月29日撮影)



ワカキノサクラ
(3月29日撮影)

【センダイヤ（サクラ）について】

センダイヤはヤマザクラの栽培品種で、開花期はソメイヨシノよりもやや遅く、花は淡紅紫色で先端とふちはやや色が濃いのが特徴。

【牧野記念庭園の紹介】

牧野富太郎博士が大正15年から94歳で亡くなる昭和32年まで居住し、自らが採取してきた植物を植え、「我が植物園」として愛した住居跡を整備した庭園。

牧野の死後、この植物学ゆかりの聖地を広く一般に開放し、牧野の偉業を末永く後世に伝えようと、練馬区が昭和

33年に開園した。園内には300種類以上の草木類が植栽されており、スエコザサ、センダイヤ（サクラ）、ヘラノキなど、大変珍しく学問的にも貴重な植物も多数見ることができる。

交通案内：西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 徒歩5分

開園時間：午前9時～午後5時、火曜日（火曜日が祝休日にあたる場合は開園、その直後の祝休日でない日を休園）および年末年始休園、入園無料



昨年の見ごろの様子（センダイヤ）

【問い合わせ】 花とみどりの相談所 電話 03-3976-9402